

第33回

都島メディカル ・カンファレンス

参加費
無料
申込要

本会は、医師会と大阪市立総合医療センター、近隣の診療所・病院勤務医師の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心としたカンファレンスです。このカンファレンスを通してレベルが向上し、相互の親睦も深め、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

今回は“肝障害”をテーマに専門家だけでなくもきちんと理解できるプログラムを企画いたしました。皆様と一緒に勉強したいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。

2023年

2月25日 (土)

午後3時～5時 (14時30分受付開始)

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

◆プログラム



【症例①】肝障害・黄疸の精査目的で地域医療機関から紹介された症例に関する検討

初期急病診療部長 山口 利昌

肝臓や胆道系に異常をきたした場合に肝逸脱酵素は上昇しますが、実際は肝疾患以外にもさまざまな病態が原因となります。肝臓そのものの異常なのか、原因が他にあり肝障害は並存する病態など鑑別診断を進めることは必要です。また、成人の黄疸は肝胆道系の疾患が原因であることが多いですが、黄疸を呈する疾患も多岐にわたります。今回は“肝障害”“黄疸”を中心に地域医療機関から紹介された症例に関する検討を行いました。



【症例②】肝胆道系酵素異常で紹介された不明熱の一例

総合診療科 山根 和彦

膠原病・自己免疫疾患の経過中に肝胆道系酵素の異常が出現することが知られています。膠原病そのものによる肝機能異常やウイルス性肝炎、薬剤性肝障害の合併などで診断に難渋することがあります。当院で経験した肝胆道系酵素異常を呈した不明熱の一例を紹介させていただきます。



【特別講演】「肝障害へのアプローチと肝炎治療の現在」

肝臓内科副部長 中井 隆志 (なかい たかし)

肝臓は「沈黙の臓器」とされていますが、実臨床においては症状の有無の関わらず、肝機能障害の症例に遭遇することは稀ではありません。従来のウイルス性肝炎、アルコール性肝障害に加え、近年は脂肪性肝炎に起因する肝機能障害が増加し問題化されています。またB型・C型肝炎ウイルスを概ね制御できるようになった現在、様々な肝障害に対して、どのような薬剤が適応となるのかなど、実臨床に即してお話させていただきます。



【閉会あいさつ】

総合診療科部長 後藤 仁志

主催：大阪市立総合医療センター

【事務局】 総合診療科 後藤 仁志

初期急病診療部 山口 利昌

お問合せ：地域医療連携センター 神谷 金山 ☎06-6929-3633 (直通)

第33回都島メディカル・カンファレンス (MMC) FAX申込書
大阪市立総合医療センター地域医療連携センター
申込FAX番号 06-6929-0886

お手数ですが、枠内にご記入の上、FAXにてご送信ください。ご参加いただける方のお名前の記載をお願いします。

なお、誠に勝手ではございますが、**2月17日(金)**までにご返信ください。

※本講演は、大阪府医師会生涯研修の認定を受けています。

参加者氏名	
①	職種
②	職種
③	職種
④	職種
施設名	
施設所在地等	住所 TEL

【案内図】



大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール
 大阪市都島区都島本通2-13-22

最寄り駅

- 大阪メトロ（谷町線）都島駅 2番出口から西へ徒歩3分
- JR西日本（大阪環状線）桜ノ宮駅 東出口から北へ徒歩7分

【事務局】

総合診療科 後藤 仁志

初期急病診療部 山口 利昌

お問合せ：地域医療連携センター 神谷 金山

☎06-6929-3633（直通）

